

平成29年度沖縄国際物流拠点活用推進事業採択企業(報告企業)

番号	事業者名	所在地	テーマ	事業概要
1	アンリッシュ食品工業株式会社	うるま市	プロトン機器(プロトン凍結機・解凍機)製造施設新設事業	沖縄を国内外への製造・販売の拠点化を目指し、国内外の市場ニーズ(原価低減、性能)に対応するため、加工食品と機械の生産・製造機能を沖縄に集約して製造工程を見直し、製造原価等を低減した。
2	株式会社アクロラド	うるま市	食品異物検査装置及び空港手荷物検査装置用のフotonカウント型X線検出器の県外(海外)向け市場展開	食品検査や空港手荷物検査等検査精度(異物、爆発物等の検出)の向上が求められている分野を対象にして、検査装置や検出器のメーカーに、フotonカウント型検出器の検出器や素子を取寄するため、製造工程に新設備を導入して、高品質CdTe素子の製造工程を確立した。将来、米国運輸安全局(米TSA)の採用を目指す。
3	株式会社ジーオーファーム	浦添市	先進的・高付加価値の「ミネラルオイスター」アジア輸出事業	富山県の海洋深層水で浄化した全国のカキを浦添の畜養施設に搬入し、地下浸透海水による畜養及びカキへの給餌を行い、香港、台湾、上海の市場に「あたらぬ、安全・安心な牡蠣」を付加価値として、市場開拓を行う。台湾では星付きホテルで試食会、メディア等を通して販路を構築中である。
4	株式会社ナノシステムソリューションズ	うるま市	高精度ハイレゾリユーションナノトポグラフィ検査の国内外販売に向けての装置化	シリコンウェーハの平坦度をnmオーダーで検査できることが必須だが、業界では対応に苦慮している。このため、世界発のハイレゾリユーションナノトポグラフィ(HRナノトポ)検査が行える装置のシステム開発、製品化を目指す。ウェーハ表面の微細な凹凸の高さを正確に測定する世界発の技術を確認することができた。今後、状態解析データを蓄積し、アプリケーションの開発を目指し、国内外のシリコンウェーハメーカーに展開する。
5	三高水産株式会社	糸満市	沖縄県産マグロ中国輸出プロジェクト	中国(上海)では日本産水産食品に放射能検査が義務づけられ、手続きの煩雑さから輸出はほぼできない。事業により各種証明書の即日発行等協議を重ね当日の通関が可能となり、現地のインポーター、冷蔵輸送ルート等商・物流を構築できた結果、沖縄ではこれまでできていなかった鮮魚輸出事業を確立できた(上海、香港向け約1700トン輸出)。
6	三鷹光器株式会社	うるま市	東南アジア向け最先端医療機器輸出体制の構築	脳外科用ハイエンド手術顕微鏡システム(最先端医療機器群)の製造設備、人材育成、販売等の体制を拠点で沖縄に開設した。3Dカメラユニット製造し海外に販売し、中国市場(脳外科用手術顕微鏡)を独占しているメーカーに対抗するため、教育用低価格モデルを試作した。主力商品は中国CFDAのクラスⅡ認可を取得した。今後、世界最高倍率(競合製品はない)の市場開拓を目指す。県内他社でメッキ、塗装の表面処理できれば一貫生産体制が整う。
7	有限会社グリーンフィールド	那覇市	カット野菜工場の特徴を活かした沖縄野菜の市場拡大プロジェクト	沖縄県産「長寿野菜」(ゴーヤ、島ニンジン、パパイヤ、カボチャ等)を使用した自社ブランド(菜色健美Beautysoup)を開発した。併せて、野菜やフルーツの収穫期に合わせて急速冷凍加工するため、新たな機器を導入し野菜カットから冷凍梱包までの製造ラインの自動化及び冷凍コンテナ(商品保管)を整備して、コストダウンと量産体制を整えた。今後、賞味期限の延長に取り組み、ネット通販、海外市場開拓を目指す。